| 所属長 | 研究者 |
|---|---|
| | |

# 看護研究発表時の倫理チェックリスト（自己チェック）

年　　月　　日

抄録　・　学会発表　・　院内発表　・　論文投稿

所属［　　］　研究者［　　］

研究テーマ［　　］

| 項目 | ﾁｪｯｸ欄 |
|---|---|
| ■原稿について | |
| 1．発表先が提示する形態・様式に則っている | |
| 2．表題・キーワードは、内容を適切に表現している | |
| 3．目的は、文献検討の後、明らかにする内容が明確である | |
| 4．研究方法（データ収集・分析方法の手順）は、具体的に示されている | |
| 5．倫理的配慮がなされている | |
| 1）研究データは、研究に必要な情報に限られており、対象が特定される記述がない（職業、病名、家族など患者情報は最小限とし、A 氏、B 病院、○歳代や発達段階、上旬、病日などの表現を用いている） | |
| 2）個人が特定されない画像データを用いる場合でも対象者に承諾を得ている | |
| 3）対象者の尊厳がまもられた文章表現である | |
| 4）倫理委員会の承認を得たことを記載している | |
| 5）対象者に研究と発表の同意を得たことを記述している | |
| 6）対象者に不利益や負担が生じないよう配慮した記述がある | |
| 7）文献の引用は正しく行い、発表先の規定に則って表記されている | |
| 8）既存の尺度は使用許諾を得ている | |
| 9）必要時、利益相反の有無を示している | |
| 10）未発表・未投稿の研究である | |
| 6．結果は、事実を客観的に示している | |
| 7．考察は、得られた結果に基づいた解釈で、文献検討が適切に行われている | |
| 8．結果・結論は、研究目的に沿っており、一貫性がある | |
| 9．研究の限界が述べられている | |
| ■原稿の開示について | |
| 10. 対象者に開示について説明し、求められた時は開示する（開示日程が決まっている場合：　　年　　月　　日　立ち合人の氏名：　　） | |
| 備考 | |